

【特別講演】（三重県立看護大学地域交流センター 平成28年度第1回公開講座）

6月25日（土） A会場 13：20～14：20

川口孝泰（筑波大学教授・看護学類長・保健医療学域長）

「看護のものづくりと人間工学」

【学会理事会主催企画講演】

6月25日（土） A会場 10：40～11：40

藤田祐志（国際人間工学連合（International Ergonomics Association）会長）

「人間工学の普及を担う国際人間工学連合」

【大会企画シンポジウム】

6月25日（土） A会場

MS1 看工連携によるものづくりと三重県内の企業の技術について

14:30～16:30

オーガナイザ：斎藤真（三重県立看護大学）

MS1-1 看工連携によるものづくりと三重県内の企業の技術 ○斎藤真（三重県立看護大学）

について

MS1-2 看工連携によるものづくりプロジェクト創出ネット ○市山俊治（（一社）発明推進協会）

ワークの概要

MS1-3 訪問看護における針刺し予防のための携帯用医療廃棄物容器の開発 ○福井幸子（青森県立保健大学），吹田夕起子（日本赤十字秋田看護大学），細川満子（青森県立保健大学），矢野久子（名古屋市立大学），前田ひとみ（熊本大学），増田満啓（（株）西山製作所）

MS1-4 フィジカルアセスメント（胸部の聴診）学習システムの開発 ○三浦奈都子，遠藤良仁（岩手県立大学看護学部），村田嘉利（岩手県立大学ソフトウェア情報学部）

MS1-5 ベッド用心肺蘇生補助装置の開発 ○長谷川 智之，斎藤真（三重県立看護大学）

MS1-6 三重県における産学官による看工連携の取り組み ○松岡敏生（三重県工業研究所），斎藤真，大西範和（三重県立看護大学）

【一般企画シンポジウム】

6月25日（土） A会場

1S1 社会の中での人間工学－Future of ErgonomicsとISO27500－

9:30～10:30

オーガナイザ：鳥居塚崇（日本大学）

1S1-1 IEAが考える人間工学の将来に向けての指針について－IEA future of Ergonomics：FOEレポートの紹介－ ○小谷賢太郎（関西大学）

1S1-2 人間工学を社会に普及・浸透させるために－ISO27500を利用したFuture of Ergonomics実現に向けた取り組み－ 鳥居塚崇（日本大学），藤田祐志（IEA 会長）

6月26日(日) C会場

2S4 三重における海事分野の人の匠(海事人間工学研究部会)

11:10~12:10

オーガナイザ: **村井康二(神戸大学)**

2S4-1 三重における海事に関する人の匠ー志摩の海の料理の匠ー

○竹内千尋(志摩市議会議員/前志摩市長)

2S4-2 海女と匠

○山下真千代(御座白浜海女小屋「磯人」),
竹内千尋(志摩市議会議員/前志摩市長)

6月26日(日) A会場

2S5 人間工学博物館(バーチャルミュージアム)の展開(広報委員会)

11:40~12:40

オーガナイザ: **山田クリス孝介(佐賀大学)**

2S5-1 日本人間工学会バーチャルミュージアム構想と学生プロジェクトの概要

○山田クリス孝介(佐賀大学), 吉武良治(芝浦工業大学), 松田文子((公財)大原記念労働科学研究所), 大内啓子((財)日本色彩研究所), 齋藤祐太((株)U'eyes Design), 泉博之(産業医科大学), 八木佳子((株)イトーキ), 松岡敏生(三重県工業研究所), 榎原毅(名古屋市立大学)

2S5-2 バーチャルミュージアムプロジェクトのプロセスと手法

○皆川和輝, 時田郷, 押野沙紀, 村瀬裕子(芝浦工業大学), 山田クリス孝介(佐賀大学), 吉武良治(芝浦工業大学)

2S5-3 バーチャルミュージアムプロジェクト:Aグループの活動概要と提案

○皆川和輝, 村瀬裕子, 大村健太, 佐川航, 山田清生(芝浦工業大学)

2S5-4 バーチャルミュージアムプロジェクト:Bグループの活動概要と提案

○時田郷, 押野沙紀, 荒井大悟, 後藤茂樹, 竹ノ内盛二(芝浦工業大学)

6月26日(日) B会場

2S6 地域医療における医療提供と人間工学

11:40-12:40

オーガナイザ: **定本清美(横浜薬科大学)**

2S6-1 視覚障害者を考慮したデザインの必要性ー包装開発と看護の仕事ー

○林正保(大日本印刷株式会社)

2S6-2 小児点鼻薬ー小児の官能試験と推奨ー

○村田実希郎, 久保田清, 定本清美(横浜薬科大学)

2S6-3 医薬品包装への期待ーPTP包装の改良ー

○久保田清, 定本清美, 村田実希郎(横浜薬科大学)

2S6-4 高齢者の服薬や生活のモニタリングー高齢者のユーザビリティーに配慮したサポートー

○定本清美, 村田実希郎, 久保田清(横浜薬科大学)

6月26日(日) B会場

2S7 HCIにおける国際規格活動と参加のメリット

13:40~15:40

オーガナイザ: **横井孝志(日本女子大学)**

2S7-1 HCIにおける国際標準化活動と参加のメリットーISO/TC159/SC4における国際標準化ー

○横井孝志(日本女子大学)

- 2S7-2 ディスプレイの人間工学に関するISO規格動向 ○池野英徳（日本人間工学会ISO/TC 159国内
対策委員会SC 4分科会WG 2 +12作業部，N L
Tテクノロジー株式会社），氏家弘裕（日本人
間工学会ISO/TC 159国内対策委員会SC 4分科
会WG 2 +12作業部，産業技術総合研究所），
上原伸一（日本人間工学会ISO/TC 159国内対
策委員会SC 4分科会WG 2 +12作業部，株式会
社 東芝），兵頭啓一郎（日本人間工学会
ISO/TC 159国内対策委員会SC 4分科会WG 2
+12作業部，コニカミノルタ株式会社）
- 2S7-3 人間中心設計プロセスとユーザビリティに関する国 ○福住伸一（NECデータサイエンス研究所）
際標準－標準化の動向と事業へのインパクト－
- 2S7-4 触覚インタフェース－ISO/TC159/SC4/WG9にお ○Shimase, Misa Grace（Root Co. Ltd.）
ける活動－
- 2S7-5 企業内デザイン部門における標準化活動 ○松本啓太（富士通デザイン株式会社）
- 2S7-6 企業から標準化活動に参加する意義－SQaRE CIF ○早川敬暁（（株）LIXIL）
JIS原案作成委員会－

【講習】

6月26日（日）

2H1 H会場 9：30～10：30

音声入力と人の受聴特性－機械のErgonomicsと人の Ergonomics 江袋林藏（SAU研究会）